

鳴海周平の

ぶらり旅

鳥取県編

ふだん見慣れた日本の風景とは
一線を画す薄茶色の異世界。
私わたしなるみんは、いま鳥取砂丘とりさきに
来ております。

「砂しかないよ〜」と噂には聞いて
いましたが、ホント、砂しかない…
あ、いやいや、そんなことはない(笑)
ってことで、今回のぶらり旅は
砂だけじゃない鳥取の魅力をご紹介します
します！

どこをみても、砂、砂、砂…そして、ちょっとオアシス。
広大な砂丘を歩いていると地球との距離感がグッと縮まって、僕たちが自然界の一部であることを実感できます。



砂の美術館では「エジプト展」が開催中。これ、ゼーンぶ砂でできているそうです。



ああ……ラクダなあ。

ゴミ拾いをしてきた奇特新御方：ん？ヒデたん！
 そう！この御方はゴミ拾い仙人・ヒデたんこと吉川充秀さん。翌日からはじまる「亮さん・なるみんと行く！出雲マジ軽っヒーリングツアー」へご参加のため、前日入りしてゴミ拾いをしていたのであります。
 「ヒ、ヒデたん!」「な、なるみん!」
 広大な鳥取砂丘のど真ん中で会えるなんて、ホントご縁って面白いですよえ。



行く先々で出会った「そっくりさんシリーズ」。

砂丘での奇跡的な再会のあとは「すなば珈琲」でコーヒーを楽しみ、「砂の美術館」で砂で作った作品を鑑賞し、ラクダに乗って「ああ：ラクダなあ」と呟いて、鳥取砂丘をあとにしたのでした。
 ……あ、けっきょく、砂の話しかしてないじゃない！
 えー、それではあらためて、鳥取の魅力や翌日からのツアー写真よりダイジェストでご紹介しましょう。



「出雲マジ軽っヒーリングツアー」の詳細は本誌41ページでどうぞ。



さあ、いったい誰のコスプレでしょう？シリーズ。



空港の名称は「鳥取砂丘コナン空港」。「名探偵コナン」作者の青山剛昌先生生誕の地ということでコナン君と蘭ちゃんがお出迎えしてくれます。



リフトに乗って展望台へ。緑(松)と青(空)と茶色(砂)のコントラストが、いい感じ。



「スタバはないが、スナバ(砂場)はある」という鳥取県知事の発言がきっかけとなったといわれる「すなば珈琲」。

砂だけじゃない鳥取の魅力を紹介するにあたって、まずは、砂丘のお話をどうぞ。
鳥取砂丘の成り立ち
 (鳥取砂丘ビジターセンターHPより)
 ① 中国山地の花こう岩などが風化して砂になる
 ② 雨が降り、砂が土砂となって千代川へ流れ出る
 ③ 川に流され、日本海へ出て波で海岸へ押し戻される

④ 日本海から吹く強い風で砂が内陸へ飛び、こうしたことが長い年月繰り返されてきたのが現在の鳥取砂丘なのだそうです。
 どのくらい「長い年月」だったのかは定かではありませんが、おそらく、それはもう、かなり長い年月だったことは間違いないでしょう。
 なんとなく視線を向けた方向にみえたのは、砂丘のど真ん中



ゴミ拾い仙人ことヒデたん、砂丘のど真ん中でばったり遭遇！



ご当地グッズも「砂」関係。極めつきは、砂でできた砂かけ(砂だけ?)ばばあ。